



「回復期リハビリ家屋評価による 地域連携住宅改修サービス」のご提案



国土交通省住宅局認定
住宅履歴情報蓄積システム【e家カルテ・エコノミー】



株式会社HI-SO
<http://www.hi-so.co.jp/>

1

1. 背景

近年、回復期リハビリテーションにおける「家屋評価業務」の効率化と、その調査結果に基づいた患者さまへの医療面・建築面からの適切なアドバイスによる住宅改修サービスが求められています。



「住宅改修補助制度」(以下、仙台市の場合)

仙台市介護予防住宅改修費支援 2019年6月20日 現在
・概要

要介護・要支援の認定を受けた方が、実際に居住する住宅(住民票があるところ)を改修した場合で、申請により被保険者の心身の状況、住宅の状況等により必要があると認められる場合に、その費用の一部を支払います。

住宅改修費の支給限度額は、現在のお住まいにつき20万円(消費税込)です。

実際に支給される額は9割になるため、最大18万円までの支給を受けることができます。

仙台市高齢者住宅改造費補助金 2018年6月8日 現在

1 対象者

本市に居住する方で、65歳以上の方のみからなる所得税非課税世帯に属する要介護または要支援高齢者が対象です。

2 対象工事

廊下、階段、浴室、洗面所、玄関、台所、便所等に高齢者の日常生活上の安全または便宜を図るための改造を行うものが対象です。ただし、単なる維持修繕工事や居宅の新築または購入に際して行われるものは除きます。

3 内容

改造に要する費用の4分の3の額(限度額60万円)を助成します。ただし、介護保険の住宅改修費の支給を受ける場合は保険給付対象工事費(上限20万円)を差し引いた額を助成対象工事費とします。

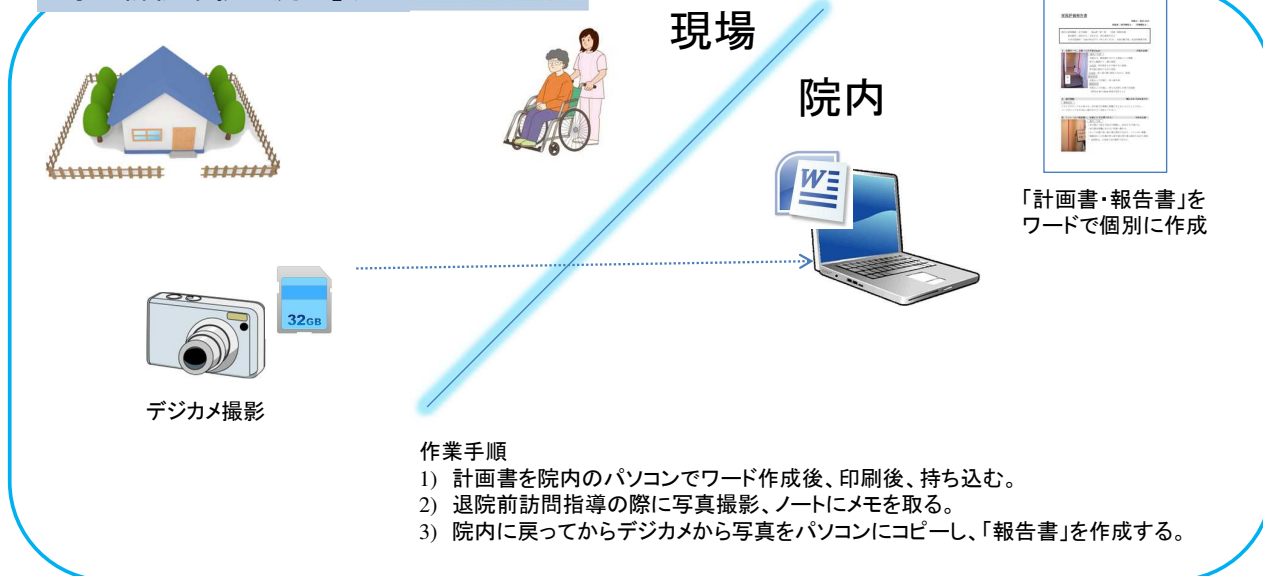
2

2. 家屋評価業務

リハビリテーション医療機関において、理学療法士・作業療法士・医療ソーシャルワーカー、ケアマネージャー、などが連携し、環境設定や改修が必要な箇所を確認するため、適宜、家屋評価を実施し、改修後の住環境について、使い勝手や安全面などを調査し、安心して在宅生活を継続できるように家屋評価に取り組んでいる。

※退院前訪問指導には、診療報酬が発生する

「家屋評価業務の流れ」(システム導入前)



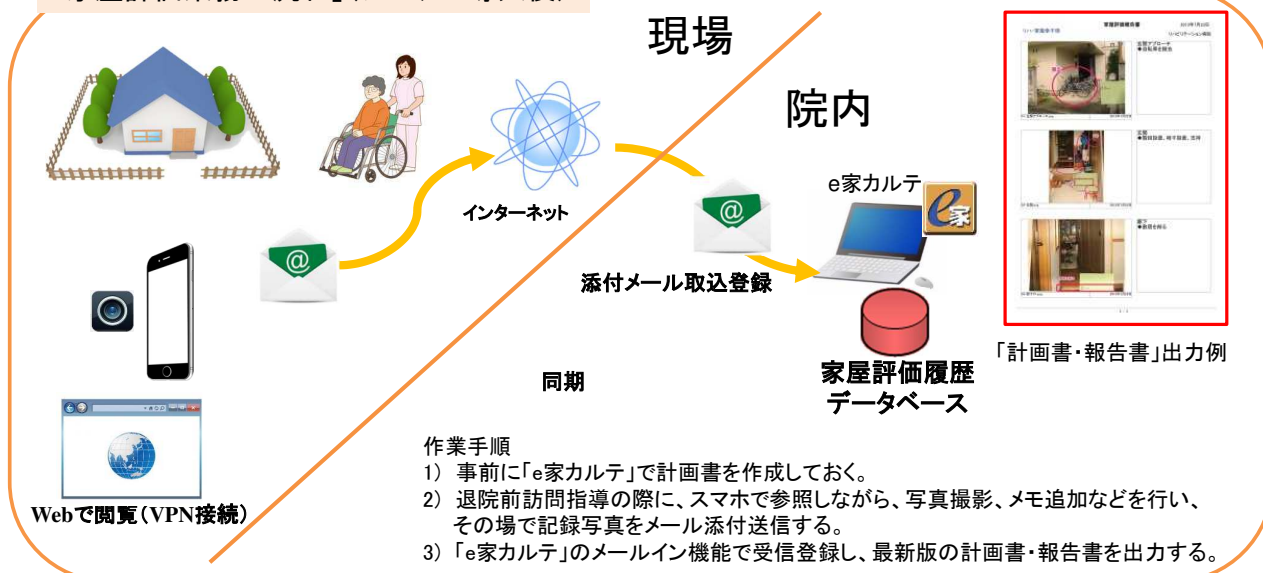
3

3. 家屋評価業務のシステム化

患者さまの基本情報や確認・注意点を院内のパソコンで「e家カルテ」に入力後、計画書を出力し、退院前訪問指導の際に、Webブラウザで閲覧参照(VPN接続)しながら、写真撮影、メモ追加などを迅速に行い、その後、写真添付メール取込み機能により、「e家カルテ」に蓄積後、効率よく報告書を出力する。これにより大幅な業務効率化が図れる。

※退院前訪問指導には、診療報酬が発生

「家屋評価業務の流れ」(システム導入後)



4

4. システム活用イメージ

Windowsで作ってWebで「見える化」!

①スマホ等で情報収集

スマホアプリ

Note Anytime、Sketch・・・等
で撮影写真編集後、メール送信



②Windowsで、 メール取込み編集

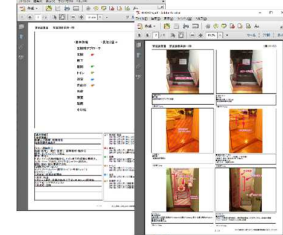
【eカルテ】



③Webで閲覧 + 簡単報告書作成



Webで閲覧(VPN接続)



報告書作成

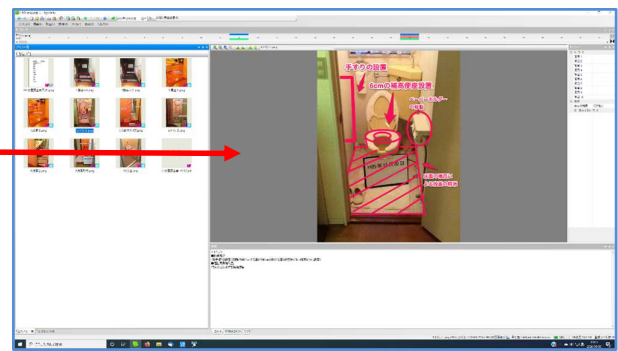


5. 「e家カルテ」の特徴

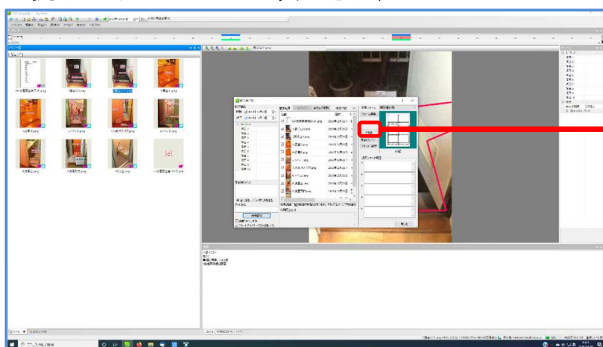
関連付けを「見える化」するリンクポイント機能と、業務効率化の有効な報告書作成機能



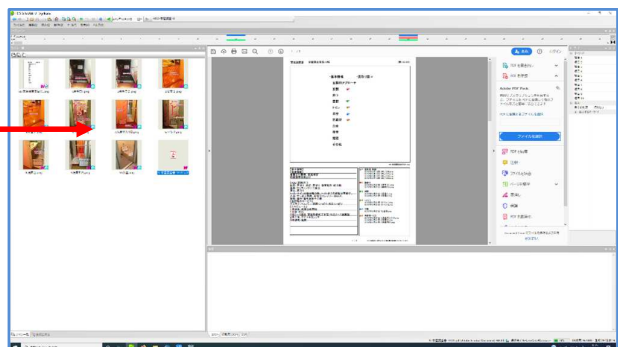
・開くとスタートページが表示され、



・「リンクポイント」からのジャンプ表示



・報告書作成指示より、



・「報告書作成(PDF)」作成

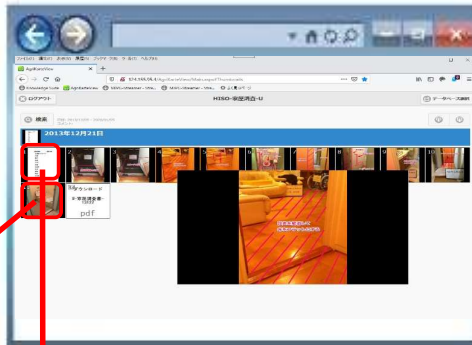
6. eカルテWebの画面



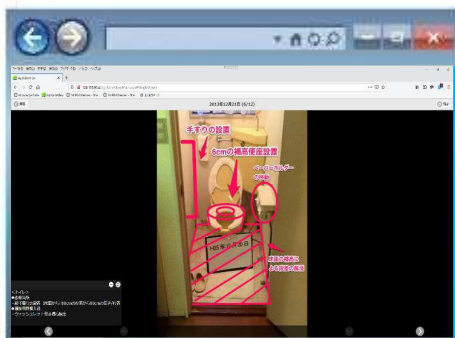
・ログイン画面



・対象データベースの一覧表示



・詳細データとコメント表示



・リンクポイントからジャンプ表示



7

7. システム導入のメリット

1) e家カルテ導入における業務手順の統一化

院内の家屋評価業務のそれぞれの業務が明確化され、担当者の作業分量が把握でき、予定変更による作業再割り当て等、柔軟に対応できる。

2) 経験値(ノウハウ)のデータ化と蓄積

家屋評価の実績を継続して蓄積一元管理し、その中に含まれている業務ノウハウをいつでもスピーディに検索・閲覧することにより、個人差の少ない質の高い業務を可能にする。

3) Webを使った外部での業務時間の有効活用

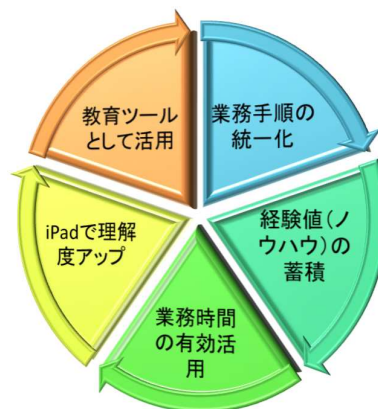
スマホやタブレットの手軽さと簡便さを生かした業務を、業務の合間の時間や、外部への移動時間などに効果的に時間を有効活用できる。

4) Web効果「見える化」による理解度アップ

リンクポイントによる関係性表示など、「見える化」の指向性にあった表示機能により、わかり易い表現が可能で、患者さまからも高評価を頂いている。

5) 履歴蓄積による教育ツール活用

今後、様々な院内の業務にも使い方次第で運用できる可能性が高く、履歴蓄積そのものが社内教育ツールとしても使える可能性が高い。

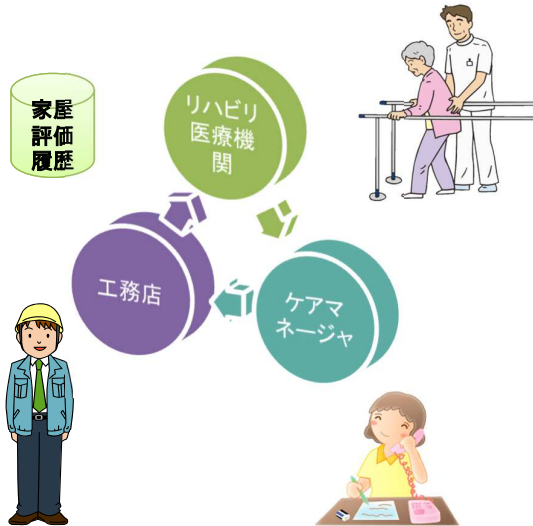


※上記は、関東地区で本システムを約1年間トライアル導入し、評価して頂いた医療機関からの評価を反映させて頂いております。

8

8. 「地域連携住宅改修サービス」への展開

退院後の患者さまやご家族の皆さまに、これからの生活において医療面・建築面からの適切な住宅改修提案を行い、それを実施し、世代を超えてより良いサービスを展開するためには、この「家屋評価履歴」データを地域の資産として捉え、地域ぐるみで連携したサービスを構築していくことを提案します。



リハビリ医療機関は、
患者さまやご家族の皆さまに最良のリハビリテーションサービスを提供する。

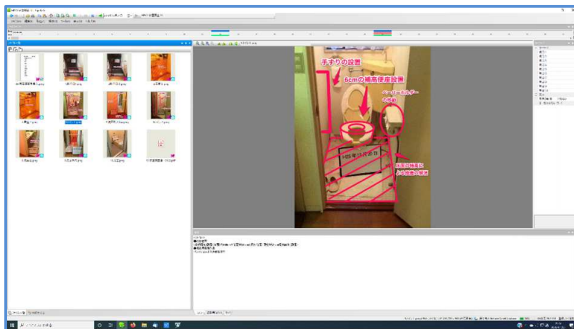
ケアマネジャーは、
直接的なリハビリテーションサービスの導入に加え、生活機能の維持・向上、生活環境の改善の手段として、適切な評価に基づいて導入される住宅改修の提案や福祉用具の活用等を図っていくことが重要である。

工務店(建築、リフォーム、設備業など)は、
医療機関やケアマネジャーと連携し、患者さまにより良い住宅改修を提案・受注する。
直接の受益者となる。

9

9. システム製品価格

1.【e 家カルテ】Windows アプリ (編集機能)

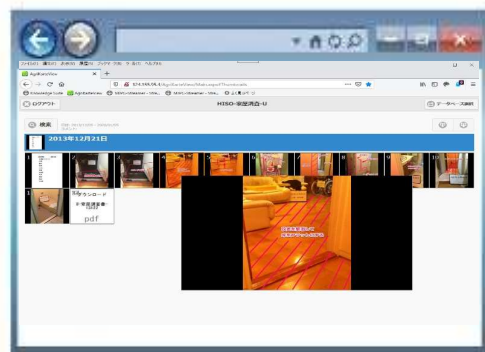


- ・アプリ料金 (1本) 250,000円(税別)
- ・月額保守料 (1本) 2,000円 / 月(税別)
(納入後1年後から、1年単位での自動継続契約)

※:データ追加・編集には、別途「e 家カルテ」が必要です。

2. 【eカルテWeb】Webブラウザ版 (ビューア機能のみ)

- ・使用料 (1アカウント) 1,000円 / 月(税別)



ご不明な点は、お気軽にご相談ください。



<http://www.hi-so.co.jp/>

既存住宅流通活性化事業「住宅履歴情報」登録認定機関
登録住宅履歴情報蓄積システム【e家カルテ・エコノミー】

株式会社HI-SO

TEL 022-247-1855 FAX 022-249-7253

10